

# OAMP の削除重複したローカルな情報

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決策](#)

## 概要

この資料は Cisco カスタマー 音声門脈 ( CVP ) オペレーション、管理、メンテナンスおよびプロビジョニング ( OAMP ) から重複した場所を削除するためにステップを記述したものです。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- CVP
- 構造化照会言語 ( SQL )

ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づくものです。

- CVP 9.x 以上に
- UCCE 9.x 以上に

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな ( デフォルト ) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

## 問題

OAMP の重複した場所は、それ 2 人のサブスクライバからインポートされて得、無効な物を削除できません。

## 解決策

それか。s ツーステップ プロセス:

ステップ 1.コール サーバから情報を取除いて下さい展開されるこれらの場所がある。  
ステップ 2. OAMP から情報を取除いて下さい。

コール サーバに関しては:

ステップ 1.コール サーバサービスをダウンさせて下さい。  
ステップ 2. **location.properties** ファイルのバックアップを奪取し、<CVP\_HOME>/conf/から削除して下さい。

OAMP に関しては:

ステップ 1. OpsConsole サービスをダウンさせて下さい。  
ステップ 2. <CVP\_HOME>/bin/sqledit.bat を実行して下さい。  
ステップ 3.他の後でこれらの SQL コマンド 1 を実行して下さい ( これらは OAMP の LBCAC 情報のトレースを取除きます )。上テスト ボックスの文の入力によってこれをし、キーを『Enter』を押すことができます。ステータスバーで ( ウィンドウの下部ので ) 文を実行した結果が表示されますか。理想的には成功 メッセージが表示されます。

**LBCAC\_ASSOC\_DEVICE\_MAP** からの削除

**LBCAC\_SYNC\_STATUS** からの削除

**TEMP\_LBCACCONFIGDATA** からの削除

**LBCACCONFIGDATA** からの削除

上記のステップが実行されれば、コール開始 サーバサービスおよび OAMP サービス。OAMP に行ってくださいか。システムは > **Locations** ページ位置を再同期化し。Locations ページのコール Server タブから、位置をサーバを呼出すためにコピーするように **Save&Deploy** をして下さい。